

立ち読み版



松田 元 さん

まっただげん

アズホールディングス株式会社
代表取締役

PROFILE

高校中退後、フリーターや海外生活を経験し、2002年に早稲田大学商学部へ入学。在学中より起業を志し、ビジネスを学ぶ。フリーターによる営業代行ビジネスで成長を遂げ、2012年に企業グループ・アズホールディングス株式会社を設立。新たな経営論「レジリエンス経営」の確立により、次なる展開を目指す。

不確実性への挑戦で 自身の枠を広げ続け 新たな経営論で次世代経営に挑戦する

高校入学直後に中退し、フリーターとして社会人になる。東京での1人暮らしを始め、16歳で大学入学資格検定（現・高等学校卒業程度認定試験）に合格。半年間、アメリカにて生活を送りビジネスへの興味を高める。紆余曲折を経ながら、18歳で早稲田大学商学部へ入学、起業を目指しビジネスを学ぶ。在学中よりベンチャー経営者の下で経験を積んだ後、自らの会社を起業。フリーターによるコ・ソーシングでの営業代行ビジネスというモデルが当たり、25歳で5,000万円の利益を生み出し、さらにM&Aなどでグループ企業を増やしていく。新たな経営論である「レジリエンス経営」の確立で、次なる展開を目指す挑戦者に話を聞いた。

フリーターとなり16歳で大検取得後、現役で大学合格

——松田さんは、若いながらも波瀾万丈なキャリアをお持ちだと伺っています。

実は、中学で一度中退しかかっていて、そのときは義務教育だったため、公立中学に編入させられました（笑）。高校は3日でやめたくなり、中退後にフリーターになりました。単に高校に通うことが面倒だったからですが、いまにして思えばメリットを感じられなかったからかもしれません。

中学・高校・大学を出て、サラリーマンになって東証一部の社長になれたとしても、年収3,000万円くらいしかもらえない。仮に高校へ3年間通っても良い大学に入れるかはわからないし、就職しても社長になれるかもわかりません。「それならば、やめてしまえ」という感じでした（笑）。人と違うことや自分にはできないことをやりたいた気持ちは、当時から潜在的に持っていました。

このとき、フリーターになったことが、私の初めての社会人経験でした。とりあえず、何かしなければいけないと思い、地元の酒屋さんに配達などのアルバイトをしていました。その酒屋の社長さんは、いまの私と同じ32歳と若かったのですが、昔はやんちゃだったそうで気が合いました（笑）。当時、私は高校を中退するくらいだったので、付き合っていた友人も真面目ではない人たちがばかりでした。なぜかお金を持っている人も多く、そのことをカッコよく感じた時期もありましたが、一緒にいると危険なことも多かったため、そのうち、このままでは先が見えないと感じるようになりました。

そこで、物理的にも環境を変えるため、地元・鎌倉を離れて東京で1人暮らしを始めることにしました。

——たしかに、かなり波瀾万丈ですね（笑）。ですが、とても自立心の強さを感じます。

自分の問題なので1円も親には頼るまいと思ひ、掛け持ちでアルバイトをして、貯めたお金で国分寺に家を借りて働くようになりました。せっかく

東京に来たのでアルバイトだけではつまらないと思い、何かチャレンジすることはないかと探していたところ、「大学入学資格検定（以下、大検）」の存在を知りました。

現在は「高等学校卒業程度認定試験」という名前ですが、これに興味を持ち、立川にある大検スクールに通い始めました。そのときに多様性のある人たちとかかわった体験が、現在のアズホールディングスという会社につながっています。

そこでは、グレていた人、いじめを受けていた人、暴走族などがとても仲良くしていました。生徒が大検を取るという共有認識が生まれているため、そこでは構造上、いじめが起きにくい環境でした。柄の悪い人とおとなしい人が仲良く話しているのを見て、これは面白い空間だと感じました。久しぶりに勉強に取り組み、当時は11科目ありましたが、16歳で大検を取ることができました。

単に環境や自分を変えてみたいという想いで大検を取ったため、大学に行くこと自体にはあまり興味がないと大検スクールの校長先生に相談しました。政治家や起業家などとは違う職業に就きたいという漠然とした想いがある一方で、海外に行ってみたくとも思っていました。それを校長先生に伝えたところ、「絶対にアメリカに行きなさい」と勧められたため、アメリカに行こうと決めました。

またアルバイトでお金を貯めて、学年次としては高校2年生の12月から半年間、カリフォルニアに滞在しました。帰国後、渡米の経験から思うところがあり、日本の大学に入り勉強しながらビジネスをすることに決めました。再度、お世話になった大検スクールの校長先生に相談に行き、面白そうに大学に行きたいと言ったら、早稲田大学を勧められました。

そこで受験を決意するも、大学受験予備校に入るための試験ではごとごとく落とされました。やむなく早稲田大学の合格体験記を綴った本を買い、